

地域での支え合いの仕組みづくりにも取り組む」との答弁がありました。さらに「地域包括ケアシステム構築に向けた取組」「新しい総合事業移行に向けた準備」「認知症初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員の設置」等の新たな取組に係る質問に対して、担当より「必要な体制整備等を丁寧に行っていく」との答弁がありました。また「パブリック・コメント時に平成29年4月としていた新しい総合事業への移行時期を、平成28年4月に変更した経緯」や「一般

会計からの繰入れにより介護保険料を下げること」「介護予防施策充実に係る具体的計画の内容」等について確認を行う質疑がありました。採決前に委員から、「介護保険料改定に当たり、介護予防の具体的施策や一般会計からの公費投入等の値上げ幅を抑える努力が見えない本案には賛成できない」との反対討論と、「介護予防等の一般施策への参加者を増やすなど、要介護者を増やさないための取組、努力」「サービス基盤の整備等、介護保険料改定に係る説明

責任を果たすこと」「地域包括ケアシステム構築、認知症対策等にしっかり取り組むこと」を求める賛成討論があり、賛成多数で可決しました。

本会議でも、「これまでの介護予防施策削減が、要介護・要支援認定者増加につながっており、介護保険料値上げは容認できない。また新しい総合事業への早期移行には準備不足であることを指摘する」との反対討論がありましたが、賛成多数で可決しました。

市政を問

平成27年第1回定例会 代表質問の質問事項・答弁の要旨

内容は各議員が一定のスペース内で自由にまとめたものを代表質問の順番で掲載しています

財政健全化に向けて
力強い一歩を踏み始めた

自民党・市民クラブ 尾澤 しゅう

◎平成27年度予算

尾澤：過去最大の予算規模でありながら収支均衡型の予算とすることができ、更に基金に約7億6千万円を積み増すことができた理由は？

市長：ゼロベース部局積み上げ方式の予算により、各部署で事務を見直して本当に必要な予算なのか、金額が適正かどうかをしっかりと精査した結果の予算編成である。

◎ペンシルロケット発射60周年記念

尾澤：27年度は市内で行われたペンシルロケット水平発射実験から60周年という記念すべき年である。どのような企画を考えているのか？

市長：「宇宙開発発祥の地」として他市にはない魅力である。イベントの企画や学習の場としての活用、それからふるさと納税のお礼としてJAXAのロゴマークとシリアルナンバーが付いたペンシルロケットレプリカを1000機限定で用意することを考えている。

◎子ども子育て支援

尾澤：働く女性を応援する、生産者人口を増やすという意味でも保育施策は重要である。平成27年度の取組みと待機児童解消への展望は？

市長：新年度、新たに保育園を2園（定員250名程度）開設する予定。潜在的な保育需要を含めると27年度に待機児童解消には至らない。29年度解消を目途にしっかりと取り組んでいく。

◎通学路への防犯カメラ設置に向けて

尾澤：昨今の社会状況を踏まえ、各小学校通学路に防犯カメラを早急に設置する必要がある。

市長：プライバシー保護の観点から厳格な運用をすることを前提に、少しでも早く設置できるように進めていく。

◎教育行政の責任の明確化

尾澤：この度の教育委員会制度の改正は教育行政における責任の明確化が趣旨である。どのような考えを持ち、改正準備を進めていくのか？

市長：教育委員会の独自性を確保しながらも行政と教育委員会の連携が深まるように進める。

◎西国分寺駅東地区のにぎわい創出

尾澤：西国分寺駅東地区のにぎわいを創出することを表明されている、どのようなプランか？

市長：現在、都立多摩図書館と東京都公文書館の建設がされているところ。また、交通広場に長距離バスの乗り入れ等を図り、西国分寺駅の乗降者数を増加させるような取り組みを行い、東口改札の開設へ向け努力していきたい。

◎国分寺駅北口再開発と国3・4・12号線

尾澤：国分寺駅北口再開発が概ね順調に進む中、東地区のまちづくりと都市計画道路3・4・12号線整備の展望は？

市長：東地区が活性化するように地域の方々や商店街の皆様とよく相談しながら進めていく。更に3・4・12号線も同時並行的に進めていく。

◎ごみの共同処理と清掃センター跡地利用

尾澤：ごみの共同処理のスケジュールと現在の清掃センターの跡地利用の検討状況は？

市長：7月に一部事務組合を設立した上で、共同処理施設は平成32年度に開設の予定をしている。清掃センターの跡地利用については現在、近隣住民と話し合いをしている状況。

◎ぶんバス

尾澤：平成27年度、北町ルートと万葉・けやきルートについての計画とノンステップバス車両導入計画はどのように行うのか？

市長：北町ルートに関しては停留所を増やし利便性の向上に努めたい。万葉・けやきルートは交通不便地域の解消という観点だけでなく観光に資するルートとしても考えることができる。ノンステップバスの導入は耐用年数を迎えた車両から順次切り替えていく。

◎近隣市との連携でサービスの向上と効率化

尾澤：今後の自治体経営にとって近隣市と連携して市民サービスを向上・効率化させることが重要である。今後の広域連携していく予定は？

市長：JR中央線の高架化事業によって生まれた国立駅の高架下スペースで市民サービスを行う予定である。そのスペースを国立市と共同経営することにより効果的、効率的な運営ができると考え、国立市と協議して進めている状況だ。

◎新庁舎建設に向けて

尾澤：市民サービス、業務効率、防災対策の観点から新庁舎建設の検討をしていくべきでは？

市長：市民合意や建設時期の検討を慎重に行い、新庁舎の建設に向けて進めて参りたい。

収支均衡予算確保で
先を見据えた財政運営を

公明党 高橋 りょう子

●平成27年度予算案 臨時財政対策債を借り入れず収支均衡予算を編成し、財政調整基金に積み増しもできた要因は。市長) 全予算を見直した結果弾力性が見えた。今後も増収策をとる。

●国分寺駅北口再開発 積算のずれが深刻な財政問題に。議会への情報提供や経過報告、フレームを通し冷静に見極め慎重な対応を望む。

市長) 市の命運を分ける大型事業。特定建築者

との連携、市民への情報共有に尽力する。

●新庁舎建設 過去に北口再開発事業と両立できなかった教訓がある。市民との合意形成を。市長) 今の分散仮設庁舎は6年目。業務効率と利便性から慎重に建設の時期を見極めたい。

●公共施設等マネジメント、財政の見える化「地方公会計整備」について全庁を挙げ丁寧に推進して頂きたい。市長の見解は。

市長) 現在、公共施設総合管理計画策定中だが既存の公共施設の老朽化が進み全体の7割が30年以上を超えている。国や都の補助金活用と市民の意見を聴取し優先順位を決めていく。

●情報化を推進する自治体ではコスト削減、市民サービス向上に成果を上げ高い可能性を秘めている。ICT先進市国分寺を期待したい。

市長) 現時点では遅れていると認識。今後情報公開など業務効率の上から積極的に進めていく。

●マイナンバー制度導入時には国の関係法令、条例改正が関わってくる。リーダーとなる部課長・関係所管職員の知識構築と意識向上を。

市長) 人員体制の強化、専任担当設置でテコ入れした。他市に遅れをとらないよう推進する。

●職員の人材発掘・育成、女性職員の登用に意欲的な取り組みを評価する。市の未来を担う有能な人材確保にどう取り組むのか考えを問う。

市長) 市民目線、市民の側に立った仕事を進めるようになってきた。今後も人材育成に取り組む。

●職員の適正配置や評価にシステムを導入し、業務ミスの軽減や効率化に資する考えは。

市長) 役所の縦割りを改善し業務の連携・情報共有に力を入れ市民目線の業務執行を進めたい。

●人口減少問題への市の取組み、対策は。市長) 国分寺に魅力を感じて頂く為に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定着手する。

●保育施策や学童 保護者の就労形態の変化で多様なニーズが求められている。市の見解は。

市長) 共働き世帯の増加で要望は多種多様。平成29年度には保育園の待機児ゼロをめざす。又、学童にも民間の力を活用し、高齢者施設との融合など将来を見据え検討したい。

●特別支援教室の改正はていねいな対応を求む。教育長) 東京都が28年度から3年間で、通級指導学級の運営方法を教員巡回型に改定すると聞く。対象者には十分な情報提供をする。

●いじめ虐待防止には、加害者の家庭環境や課題解決が再発防止に重要と認識する。見解は。市長) 家庭、学校、地域など各部署との横断的な連携で情報をつかみ早期対応に努めていく。

●地域包括ケアシステム構築には担い手の拡充が重要。介護支援ボランティア制度の導入を。市長) 地域福祉の観点から、地域の支えあいのシステムとして検討を進めたい。

●国3・4・12号線の地権者、地域住民から心

次ページに続く